



# とねしょうかわらばん体育参観特集6

がつ かほん  
10月15日版



これまでの運動会であれば4年生以上の走競技は、徒競走とリレーのどちらかに挑戦しますが、今年の6年生は、徒競走もリレーも両方挑戦しました。

さすがは6年生、見ごたえのある走りっぷりを披露してくれました。ゴール地点まで順位がもつれ込むレースも複数見られました。素晴らしいのは走ることだけではありません。全員がリレーと徒競走を走るとなれば、よほど無駄な

時間を減らさなければなりません。6年生は、どの子も先生に言われなくとも状況をみて判断し、移動や準備をてきぱきこなしていました。



6年生の例年の団体競技は騎馬戦です。この競技はコロナ対策はできないことと組体操もできないことから、6年の担任集団

は悩みに悩み、6年間の体育授業の集大成の一つとして縄跳びのチャレンジと器械運動の技の披露を考えました。縄跳びは簡単そうに見えてとても難易度の高い技が連発していました。器械運動では、立ちブリッジに側転、どの子も「見てください！」と言わんばかりの顔つきで、真剣に披露していました。体育参観の最後に、担任から保護者の皆様にメッセージをおくっていましたが、コロナ対策の中でどのように子どもたちのモチベーションをあげ、目標を達成させるか、とても難しい挑戦だったと思います。縄跳びも器械運動も日々の授業だけではなく、休み時間と放課後に子どもたちが練習している傍で担任たちは関わっていました。その積み重ねが、今日の達成をもたらしたと思います。